

ぽーと・ぷらす（沖縄・陽性者ミーティング）かわら版



次回（第24回）は、28年7月23日（土）

13時～15時を予定しています。

◆ぽーと・ぷらす（沖縄・陽性者ミーティング）って何？

「こういうとき、ほかのポジティブの人はどうしているんだろう・・・」
「ほかのポジの人と話がしてみたい」

そのような声を受けて、2010年から3カ月に1回のペースで当ミーティングがおこなわれています。参加人数は平均6名と話しやすく、初参加のかたも含めてお互いを認め合う雰囲気があります。今後も、**毎回を新たな始まりとして、【他の当事者に安心して聞いたり話したりできるような場】を継続していく予定です。**



◆前回（28.4.23）の参加者からのメッセージ

「少しでも元気になりたい方、勇気をもってあそびにきて下さい。」
「辛い気持ち、自分で抱えきれない心の重荷を、独りで背負わないで、一緒に分かちあいましょう！誰かに安心して話すことで、次のステップが見えてくることもあるかもしれません。」
「ムリしないで、でも、一つぐらい、よかったと思えばいいと思うよ。」
「自分が参加してみたいと思えば、ひとつの手段と思えるので一歩ずつ進んでもらいたい。」

あなたのペースでどうぞ。



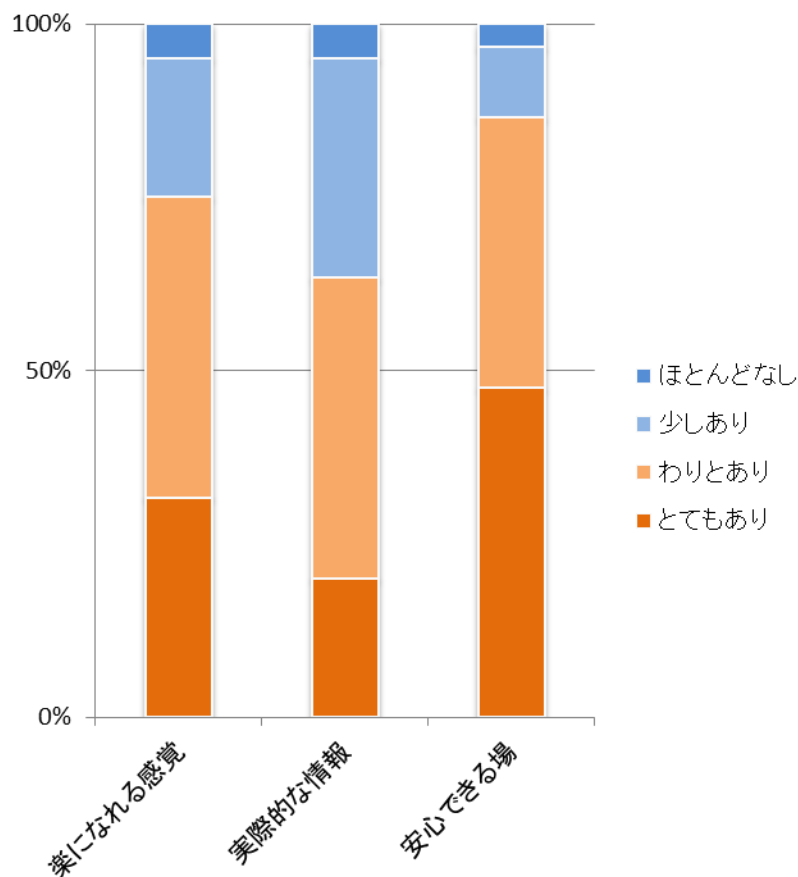
会場の一例

参加対象は、沖縄県内のHIV/エイズ診療拠点病院を受診しているHIV陽性者であり、セクシュアリティや感染経路は問いません。申し込み方法を含めた詳しい「ご案内」は、受診時に診療チームからお受け取りください。

沖縄県臨床心理士会HIVワーキンググループ

ぽーと・ぶらす 参加者アンケートの結果（抜粋）

1. 参加することで得られそうな3項目 （第1～10回 のべ60名分の累計）



好意的な評価（オレンジ系の部分）が過半数を占めており、特に「安心できる場」を得られたと感じておられる参加者が多いです。

2. 前回（H28.4.23）の参加者の声（抜粋） （参加者から了承を得て掲載しています）

自由意見 今回	・自分自身にもあてはまることなので相談できる人を頼りたい ・少数でも、話はつきないし、思う事も言えた。 ・社会のひずみやしわ寄せは、いつも弱者に真っ先にやってくる。
日常に戻って していそうな事	・災害時のHIV陽性者のネットワーク作りについて、真剣に考えたいと思います。 ・体験談を、今後の自分の生き方のヒントにしたいと思います。 ・みんなの話を聞き楽になりました。（ありがとう） ・自分自身との対話 ・今回の話題でやりきれない気持ちになっています。日常に戻っても、考えさせられます。
自由意見 次回以降	・今回の場所がイイな～。近いしペンリ～！ ・災害時のサポートのあり方について、共同研究する場をぽーと・ぶらすの皆さんと一緒に作れたら良いな、と思います。

今回の話題の中には、「やりきれない気持ち」になるような重たい内容もありました。会の場で、気持ちを言葉にしてわかってもらえる体験をすることにより、日常の生きやすさにもつながっていきそうです。